

祝津の浜からしんの薫り



「第3回おたる祝津にしん祭り」が、5月21～22日の両日、小樽市祝津の前浜で開かれました。このお祭りは、かつてにしん漁で栄えた小樽市祝津地区の歴史や文化、特産品を知ってもらおうと地元の町おこし団体「祝津たなげ会」と地元漁師で作る実行委員主催で始まったものです。初日はあいにくの雨でしたが、2日間で昨年と同様となる約6,000人の市民や観光客で賑わいました。

両日とも、1日計5回、1時間おきに100匹（2日間で1,000匹）の無料提供があり、1時間から2時間待ちの行列が出来るほどの盛況でした。



小樽産のにしんを手にした来場者は、会場内に設置された焼き台で、にしんが焼き上がるのを今か今かと待ちわびました。



にしんは自由に購入することも出来、上のサイズで300円、下のサイズを500円で販売していました。



今年も「にしんバーグ」「にしんザンギ」「ホタテ汁」(各200円)等昨年も好評だった試食販売が行われ、海辺に座り美味しそうほおぼる家族が見られました。





「茨木家中出張番屋」



「茨木家はなれ」



このほかにも関連イベントとして、国土交通省の「建設業と地域の元気回復助成事業」に選定され、昨年修復が完了した茨木家中出張番屋や茨木家はなれなどを巡る「祝津鯨番屋めぐりツアー」があり、「商店や石造りの建造物、道具類に印(しるし)をつけて、広告を兼ね判別に用いていた。」というような説明がありました。(写真中央はカネキュウ、右端はカクコメと読むそうです。)



また、高島岬にある日和山(ひよりやま)灯台の一般公開もあり、「70w電球1つで、35km先まで光が届きます。」との説明に大変驚かされました。